

プレスリリース

英ロンドン、2024年11月26日 06:00

プラチナ市場は3期連続の不足 - 2025年は17トンの予想

- リサイクルの改善にもかかわらず、供給は引き続き厳しい見通し。2024年は2%増の226トン、2025年は1%増の228トンと予想
- 自動車需要は2025年に8年ぶり高水準の101トンに達する見込み
- 宝飾品セクターは着実に成長し、2024年は前年比5%増、2025年は同2%増の予想。インド宝飾品加工の急増がけん引
- 生産能力の大幅増強が一服し、2025年の工業需要は9%減の69トン。ただし10年平均を依然として上回る見通し
- 中国の地金需要に支えられ、投資需要予測は3年連続で純増

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2024年第3四半期の Platinum Quarterly を発表しました。この発表では2024年通期予測が修正され、2025年第1四半期予測が初めて発表されました。

2024年の市場は21トンの不足になると予想されます。前年からの極めて旺盛な需要が持続しており、需要は247トン（前年比横ばい）に達し、依然として抑制されている供給の226トン（前年比2%増）を再び上回る見込みです。

2025年の総需要は245トン（前年比1%減）と引き続き旺盛で、総供給は228トン（同1%増）と引き続き抑制されており、市場は3年連続で不足（17トン）が予想されています。

好調な2024年第3四半期とリサイクル改善にもかかわらず、供給は逼迫

2024年第3四半期の供給量は、主に南アフリカにおける在庫放出の増加により生産量の不振を補ったため、前年同期比7%増の46トンとなりましたが、2024年通年の世界の鉱山供給量は昨年の抑制された水準からほぼ横ばいの177トン（1%増、2トン増）となる見通しで、業界が直面している継続的な課題を反映しています。白金族金属（PGM）バスケット価格の低迷や、進行中の再編などの下振れリスクは依然残っており、来年も続く可能性があります。その結果、2025年の世界のプラチナ鉱山供給量は前年比2%減（-4トン）の173トンに縮小すると予想されています。

このところ世界のプラチナリサイクル供給を損なってきた逆風は、まもなく和らぐ可能性があります。したがって、2024年の供給量は前年比3%増の49トン、2025年は12%増の55トンと予想されます（それでもコロナ禍前の5年平均を8%下回ります）。この結果、世界のプラチナ総供給量は2024年に226トン（前年比2%増）、2025年に228トン（同1%増）になる見込みです。

一方、地上在庫は2024年に16%減の111トン（需要の5か月分強）、2025年にはさらに15%減の94トンになると予想されています。

2025年の自動車用プラチナ需要は8年ぶり高水準

経済的苦境と高金利の中、2024年の自動車の予想生産台数は、特に欧州で下方修正されました。その結果、世界の自動車用プラチナ需要は2024年第3四半期に前年同期比3%減（-0.7

トン)となり、2024年通期予想は同2%減(-2トン)の99トンとなっています。これにはパラジウムからの代替需要23トンが含まれます。

自動車メーカーが、規制上の課題を軽減するために、CO₂排出量が少なく内燃機関を搭載したハイブリッド車の販売促進に向けて戦略を調整しているため、2025年の自動車用プラチナ需要は前年比2%増の101トンに達し、2017年以来の高水準になると予想されています。

宝飾品セクターは着実に成長

2024年第3四半期の世界の宝飾品需要は前年同期比7%増の15トン(1トン増)となりました。これはインドの宝飾品加工が68%増の2トンに急増したことが主因であり、2013年以降のデータでは四半期ベースで2番目に高い数字となります。この増加は、日本や北米といった主要市場における増加とともに、2024年の宝飾品需要を全体的に押し上げるでしょう(前年比5%増、+3トン)。

このようなポジティブな傾向は2025年にかけて続くと予想され、需要は2%増(+1トン)の62トンとなる見通しです。インドのほか、北米でも大統領選後のセンチメントにけん引されて成長が続くと予想されます。また、中国では製品革新に下支えられた成長が見込まれています。

2025年の工業需要は9%縮小 生産能力拡大プロジェクトが先細り

2024年第3四半期の工業セクターの需要は堅調で、前年同期比15%増(2トン増)となりました。この成長の原動力となったのは、電気・医療セクターの10%増と、比較的低い水準からではありますが、ガラス部門の96%増でした。2024年通年の工業需要は、前年からわずかに減少し(1%)、76トンになるでしょう。電気セクター(1%増の3トン)、医療セクター(4%増の9トン)、水素セクター(123%増の2トン)、ガラスセクター(29%増の21トン)における増加は、中国の循環的な生産能力拡大が終了する化学セクターの28%減少によって相殺されます。

例外的な成長が3年間続いた工業需要は、2025年には7トン減(9%減)の69トンとなると予測されています。この落ち込みの主因は、生産能力増強の緩和に伴い、ガラスセクターのプラチナ需要が57%減(12トン減)の9トンまで減少したことにあります。しかし、2025年には、化学セクター(17%増の20トン)、石油セクター(31%増の7トン)、医療セクター(4%増の10トン)、水素セクター(32%増の3トン)それぞれの力強い成長が見込まれます。

2025年の投資需要は3年連続純増の見込み

ETFからの資金流出と取引所在庫の変動により、2024年第3四半期は今年初の売り越しが発生しました(7トン)。2024年には、中国において大型地金(500g以上)の需要が17%増の5トンまで伸び、そして、通年のETF保有量は5トンの純増が見込まれます。ただし、これは、日本における価格主導の売却と北米での需要減退を主因とする、中国の大規模な地金需要を除く世界の地金・コイン需要の減少47%(5トン)によって、相殺される見込みです。この結果、通年の投資需要は12トン純増となります。

2025年の投資総需要は7%増の13トンになると予想されますが、これは主に取引所が保有する在庫の増加と、中国における500g以上の地金需要が8%増加することによります。世界の地金・コインへの投資需要は12%減の5トンまで減少すると予想されますが、北米の地金・コイン需要は成長を回復すると予想されます。プラチナETFの保有残高も2トンの増加が予想されます。これは一部の米国投資家が内燃機関自動車の生産台数増加に対するポジションを取ろうとしているためです。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのトレバー・レイモンド CEO は次のように述べています。「2025年のプラチナ市場は、旺盛な需要と脆弱な供給の継続が原因となり、3年連続で大幅な不足となるでしょう。世界経済が不透明な今、プラチナのような工

業用金属はパフォーマンスが低迷すると思う方もいらっしゃるかもしれませんが、本日発表したレポートに見られるように、プラチナは、その最終用途が多岐にわたるため、現在の環境下でも底堅さを見せています」

「問題の核心は、鉱山供給とリサイクルの両方でプラチナ供給量が依然として抑えられていることです。第 3 四半期は、在庫の放出が鉱山の供給量を補い、鉱業活動の減少が目立ちませんでした。継続する逆風は、**2025 年**にかけて供給の下方リスクとなります。とりわけ、鉱山においては、白金族のバスケット価格が鉱山の持続可能性に与える悪影響を管理するために、生産計画の見直しや操業の再編が検討されています。供給の合理化計画は、短期的な下振れ効果だけでなく、需要増加やプラチナ価格上昇に対する目先の供給反応を著しく制約することにも留意する必要があります。一方、リサイクル量はコロナ禍前の水準を回復しつつありますが、まだハードルが残っており、回復曲線は押し戻され続けています」

「自動車需要の継続的成長は、**2025 年**の需要成長ドライバーとして注目されます。電池式電気自動車の販売減速は、予想に反して、より長期にわたる**持続的な自動車用プラチナ需要**につながっています。排ガス規制の強化、内燃機関を搭載したハイブリッド車の増加、パラジウム代替用のプラチナの年間使用量の増加によって、自動車セクターではかねてからプラチナ需要が高まっています」

「プラチナ投資においては、世界第 3 位の小売業者であるコストコがプラチナの地金・コインの販売を開始し、米国の投資家にとってプラチナがより身近なものになったことを喜ばしく思います。これによって投資資産としてのプラチナの認知度は著しく向上し、多くの米国人にとって、プラチナを含む貴金属が**定年後**のポートフォリオプランニングへの組み入れが可能な資産クラスとして適していることを浮き彫りにしました」

「先日の **COP29** でさまざまな取り組みが強調されたように、グリーン水素の開発と普及は、引き続き重要な課題です。水素経済におけるプラチナの役割は依然として重要で、**2025 年**は、低い比較基準からではありますが、需要が大幅に増加すると予想され、この分野の着実な成長を示しています。この傾向は世界の投資家の関心を**着実に得ており**、脱炭素に向けた世界的な取り組みに関連する資産に投資する魅力的な機会を提供しています」

プラチナ製品バラン (t±5)	2021	2022	2023	2024年予想	2025年予想	2026年予想/2025年成長率 (%)	2027年予想/2026年成長率 (%)	2022年第1四半期	2023年第1四半期	2024年第1四半期
供給										
開採量										
南アフリカ	146	122	123	124	122	-1%	-1%	41	48	46
ロシア	18	18	18	18	18	0%	0%	31	35	33
ペルー	8	8	8	8	8	0%	0%	4	4	4
中国	8	8	8	8	7	-1%	-1%	2	2	2
インド	29	21	21	21	21	0%	0%	5	5	5
その他	8	6	6	6	6	0%	0%	2	1	1
生産者在庫増減 (±t)	-3	+1	+6	+2	+3	100%	-100%	-6	+1	+6
鉱山からの供給量	181	173	175	172	173	0%	-2%	43	49	46
リサイクル										
自動車触媒	88	88	88	88	88	0%	12%	11	13	11
工業	58	41	36	37	42	3%	14%	5	9	5
その他	13	12	10	10	11	1%	4%	2	2	2
工業	2	2	2	2	3	8%	0%	1	1	1
総供給量	259	259	263	259	259	2%	7%	54	62	57
需要										
自動車										
自動車触媒	78	88	100	89	100	-2%	2%	28	28	28
ノンロード	7	7	7	7	7	0%	0%	1	7	7
工業										
化学	61	58	55	61	62	0%	2%	14	15	15
石油	79	73	76	76	80	-1%	-9%	15	21	19
電力	28	22	24	18	23	-28%	17%	8	8	4
その他	5	5	5	5	7	0%	31%	1	1	1
ガラス	4	3	3	3	3	0%	2%	1	1	1
ボリス	23	16	16	21	8	28%	-87%	2	7	4
医療	8	9	9	9	10	4%	4%	2	2	2
水素ステーションなど	1	0	1	2	3	100%	50%	0	0	1
その他	18	17	18	18	18	2%	-1%	4	5	4
投資										
黄金およびコインの増減	8	-15	12	12	10	-1%	7%	3	14	-7
中国における50kg以上の増減	11	8	10	5	5	-4%	-12%	3	1	2
中国における50kg以下の増減	1	3	4	8	8	17%	8%	1	1	1
ロイヤリティの増減	-7	-17	-2	5	2	16%	-87%	-3	14	-8
取引の互換性の増減	-4	-10	8	-5	2	16%	N/A	1	-1	-1
総需要	219	201	246	247	268	0	8	58	76	68
合計	40	27	-24	-21	-17	76%	50%	-1	-15	8
地上在庫	120*	118	123	111	96	-10%	-18%			

出典：Metals Focus 2020 - 2025

注記：

1. ** 2018年12月31日現在の地上在庫114トン (Metals Focus)
2. † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

-終了-

メディア関連のお問い合わせ先：Elephant Communications
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) の刊行物です。WPIC が委託し、プラチナ金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナム)、Impalats、Northam

Platinum（ノーザム・プラチナ）、Sedibelo Platinum（セディベロプラチナ）、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください

WPIC ロンドン事務局所在地：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所：中国上海市浦東新区銀城路 8 号 ICBC タワー2301 号 World Platinum Investment Council

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム、ロジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 72%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資の 4 つです。

過去 5 年間の自動車触媒へのプラチナ需要は、プラチナ総需要量の 30%から 44%に相当しています。自動車以外の工業分野におけるプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 32%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品における世界の年間総需要は、プラチナ総需要の平均 26%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-10%から 20%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください